

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	進路指導論 (中・高)		
担当者(Instructors)	石嶺 ちづる	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業は、学校教育目標を達成する基盤となる進路指導の意義と目的について学習をする。発達段階に即した、生徒の生活意識と現状を理解し、前提となる人間観・発達観・学習観の形成を支援できるよう「生きる力」を育む指導の在り方について学習する。進路指導においてキャリア教育に繋ぐ指導のあり方を理解する。以上の内容を講義・演習形式で行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の前半は、講義を通して進路指導・キャリア教育についての意義や内容、方法、あるいは事例紹介などから理解を深める。後半は、それらをもとに、具体的な課題についてグループディスカッション等を行い、自己の意見を他者にわかるように伝え他者の意見を理解することに重点を置きながら、異なる意見の中から自己の深い学びにつながるものを獲得する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要：授業計画、授業方針等、進路指導の意義と目的、進路指導の位置づけ	職業指導から進路指導への歴史的変遷や、中学校・高等学校で行われる進路指導の意義と目的について概要を学びます。	<input type="checkbox"/>
第2回	教育活動における進路指導の現状とキャリア教育の視点、指導の在り方	中学校・高等学校でよく行われている進路指導の実践例をもとに進路指導の現状を学ぶとともに、進路指導からキャリア教育に移り変わった意味と意義について学びます。	<input type="checkbox"/>
第3回	学校におけるキャリア教育の組織的な指導体制と家庭や関係機関との連携の在り方	特別活動を要としたキャリア教育を進めるにあたっての留意点、これを実施するための組織的指導体制について学びます。	<input type="checkbox"/>
第4回	職業体験活動を核としたカリキュラムマネジメントの意義	キャリア教育の一環として行われている職業体験活動、インターンシップを中心にカリキュラム編成を行い際の課題について学びます。	<input type="checkbox"/>
第5回	ガイダンスとしての全体的な進路指導・キャリア教育の意義と留意点	ガイダンス機能としての進路指導・キャリア教育の現状と課題を検討します。	<input type="checkbox"/>
第6回	生涯を通じたキャリア形成の視点に立ったポートフォリオの活用	すべての教科を通じて行われるキャリア教育での学びを特別活動の時間を要にどのようにまとめ、新たな学びにつなげればよいか、そのために用いるポートフォリオの意義と課題を実践例を通じて学びます。	<input type="checkbox"/>
第7回	事例を通じたキャリア・カウンセリングの考え方と実践方法	将来の生き方を考えるためのキャリア・カウンセリングとはどのようなものか、その方法と意義を実践を通じて学びます。	<input type="checkbox"/>
第8回	本授業のまとめ	進路指導とキャリア教育をよりよくするために、具体的にどのようなことに留意すべきか、改善点についてまとめます。	<input type="checkbox"/>
第9回			<input type="checkbox"/>
第10回			<input type="checkbox"/>
第11回			<input type="checkbox"/>
第12回			<input type="checkbox"/>
第13回			<input type="checkbox"/>
第14回			<input type="checkbox"/>
第15回			<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

--

自分でインターネット等で教科書の予習をし(2時間程度)、授業後に教科書・参考書および授業中に配布した資料を用いて課題レポートを作成する(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内試験として実施する小レポートは、翌週まとめてフィードバックし、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方をテーマとする。教育課程における進路指導の意義や原理を理解し、進路指導・キャリア教育の考え方と指導の進め方を理解する。また、一人一人の個性の伸長を図りながら、社会的・職業的自立に向けた基盤となる社会的資質・能力、行動力を養成するための教育活動や授業改善に必要な素養を身につける。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		60%	24%	16%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」として、毎授業回の最後に小レポートを作成し提出する(Formを活用)。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「中学校学習指導要領解説(平成29年7月告示) 解説 特別活動編(文部科学省)」	
2	「中学校キャリア教育の手引き」(平成23年5月 文部科学省)	
3	「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示 文部科学省)	
4	「高等学校キャリア教育の手引き」(平成23年11月 文部科学省)	
5	「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」(2023年3月 文部科学省)	

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	藤田晃之編著「キャリア教育」ミネルヴァ書房(2018年)	
2		
3		
4		
5		